

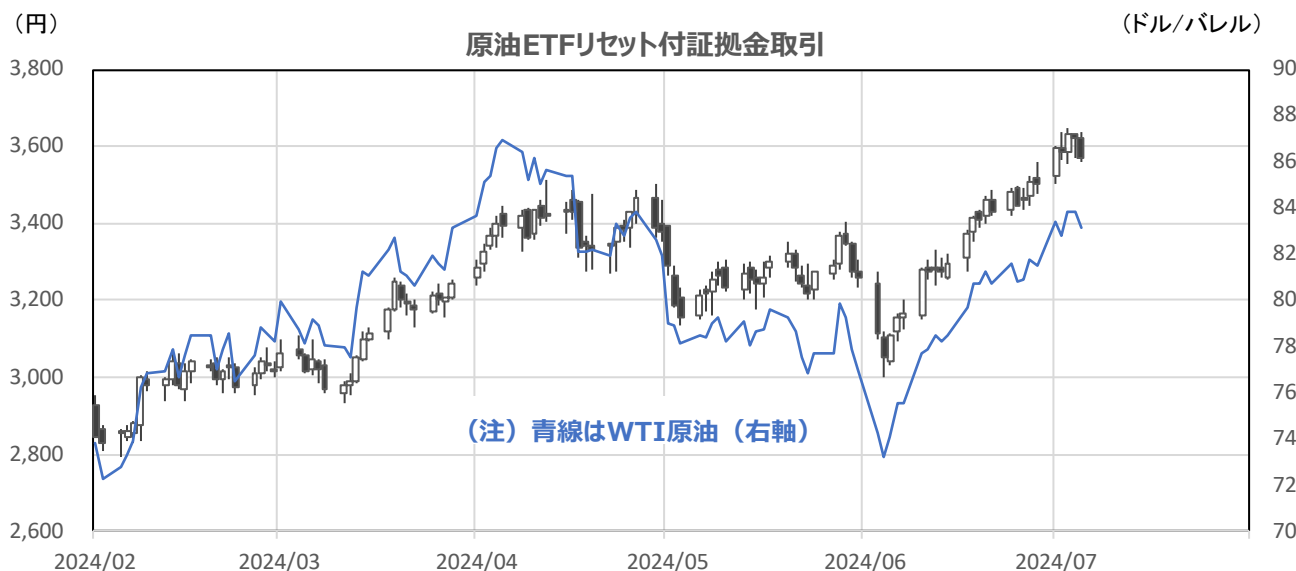
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/07/08号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

85ドルに迫る堅調地合

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半で底固く推移する展開になった。国際原油需給の引き締まり観測、中東地政学リスクの高まりを背景に、押し目買い優勢の展開が維持された。7月5日高値は84.52ドルに達し、4月19日以来の高値を更新した。米原油在庫の大幅な取り崩し、為替がドル安に振れたこともポジティブ。

原油需給のひっ迫見通しが原油相場を押し上げる展開が維持されている。特段の新規材料は見当たらないが、石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産体制が維持される一方、季節的な需要拡大期待も維持されている。供給環境に大きな変化が見られないのであれば、7～9月期は4～6月期に対して需要が拡大した分だけ、需給が引き締まるとの見方が強い。中東情勢に関しては、イスラエルとヒズボラの交戦が激化している。原油供給に混乱などは生じていないが、先行き不透明感の強さが原油相場を下支えした。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月28日時点）は、原油が前週1,216万バレル減、ガソリンが221万バレル減、石油精製品が154万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給引き締め観測で底固い、中東情勢を巡る動向に要注意

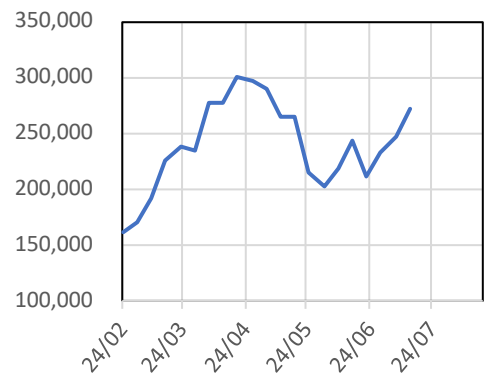
需給引き締め観測を背景に押し目買い優勢の展開が続く見通し。マクロ需給見通しに基づく買い圧力が強いいため、地合が大きく崩れる可能性は低い。中東情勢を巡る評価は大きく変わる可能性があるが、いずれにしても需給要因から堅調地合が支持される。80ドル台定着が進んでおり、85ドルの節目突破が打診されよう。

需給引き締め観測が根強い。世界経済の減速傾向は強まるも、少なくとも7～9月期の需給引き締めは十分に見通せる状況にある。特に前週に続いて米原油・石油製品在庫の取り崩しが確認できると、買い安心感も強まりやすくなる。7月10日に石油輸出国機構（OPEC）、11日に国際エネルギー機関（IEA）が最新の月報を発表することがイベントリスクになる。仮に需要見通しの大幅な下方修正がみられると、短期筋の利食い売りで80ドル水準まで軟化する可能性が浮上する。

中東情勢は原油相場に対しても大きな不確実性をもたらしている。6月下旬以降はイスラエルとヒズボラの交戦が激化していることが、原油相場を支援してきた。原油供給への実害は確認できていないが、軍事紛争の長期化・拡大を受けて、主要産油国も軍事紛争に巻き込まれるリスクが警戒されている。全面戦争に発展する可能性に注意が求められる。

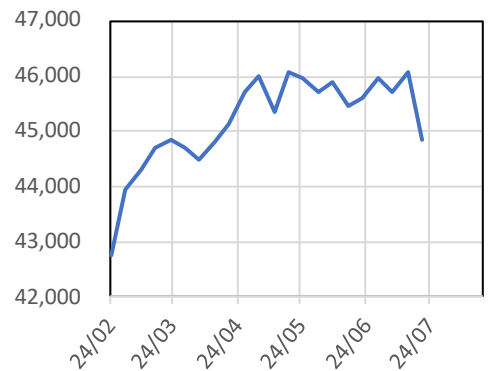
ただし、イスラエルとハマスの間では停戦を巡る協議も再開されており、仮に停戦合意に向けて大きな進展がみられた際には、調整売りが膨らむリスクが高まる。いずれにしても需給引き締め見通しで押し目買い優勢の地合は維持される見通しだが、上下双方に大きく揺れ動くリスクを抱えた地合になろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



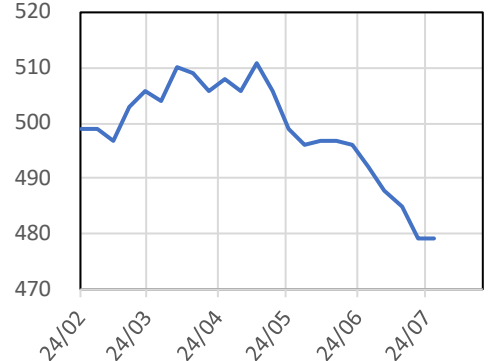
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

